

新幹線は便利？不便？

原発の今後は…

ご意見

町民の皆さんの
疑問にお答えします

ポスト



【新幹線・在来線について】

新幹線が通って、在来線がなくなるのは、とっても困ると思います。在来線がなくなると今まで止まっていた駅の人が利用できなくなるからです。新幹線が通ったら、札幌までの汽車代もとても高くなるのも困ります。今までどおりでいいです。

町担当課からの回答

北海道新幹線の新函館・札幌間につきましては、昨年12月26日に政府により、認可・着工する方針であることが公表されました。実際の認可・着工期は未定ですが、早い時期に認可・着工となる予定です。

ご心配されていますJRの在来線につきましても、新幹線の並行在来線ということで、新幹線開業後はJR北海道の経営から分離される予定です。

在来線は倶知安町の住民をはじめ、近隣町村の方々が通学や通院などの足として利用されていることから、住民生活に支障が生じることのないよう交通手段を確保していかなければならないと考えています。

在来線の取り扱いについては、新幹線の認可・着工後に、道庁と沿線自治体で構成する並行在来線対策協議会において、地域の足を守る最善の方法について検討することとなっておりますので、ご理解のほど、よろしくお願ひします。

【原発・がれき受入について】

泊原発の廃炉を求めます。福島原発事故はまだ収束せず、放射能は漏れ、汚染水も出ています。泊に地震・津波が起きたら福島と同じになります。どうしてそんな危険なものを今も使っているのか分かりません。

がれきの受け入れを反対します。がれきを受け入れると、北海道も汚染されます。安心安全な野菜を作って、汚染された土地の人へも食べ物をお届けしたいです。北海道の大地を、空を、海を守らなくてはならないと思います。

町担当課からの回答

福島原発の事故は、これまでの原発安全神話の崩壊と、わが国のエネルギー政策見直しの転機と考えています。

町では、昨年の臨時議会で「北海道地域防災計画の早期見直しと北海道電力泊原子力発電所の段階的運転停止・計画的廃炉・第3号機プルサーマル発電計画の撤回を求める意見書」の提出を求める陳情書が採択され、北海道知事に意見書を提出したところです。

また、UPZ（緊急防護措置計画範囲）として、今後原子力防災計画の策定にあたり、国や道の防災計画と整合性を計りながら取り組んでいきます。

被災地のがれきの受け入れについては、当町では現在のところ受け入れをしておらず、今後も予定しておりませんので、ご理解をお願いします。



下水道使用料改定のお知らせ

改定前後の料金表

使用水量	現行	改定後
基本料金 (6 m ³ まで)	882 円	972 円
超過料金 (1 m ³ につき)	147 円	162 円

※浴場用は現行どおりです。
※一般的な4人家族(月約20 m³使用)の場合月額300円程度の増額となります。

改定日 平成24年5月検針分から
改定理由

下水道は、安全で快適な生活を営むための重要な施設です。町では河川などのきれいな水を守るため、下水道の整備を進めています。汚水処理するために必要な

費用は使用者が負担するのが原則です。今日まで諸経費の節減に努めてきましたが、現状では全てを使用料でまかなうことはできず、町からの繰入金に頼っています。

これは、利用者以外の負担に頼った事業運営を行っているということであり、望ましい姿とは言えません。

使用料は平成元年度の供用開始以来、消費税率以外の改定を行わず20年以上が経過しました。このまま繰入金に頼った運営を続けることは、厳しい運営を及ぼしかねません。

今後とも経費削減と事業の効率化に努めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

『充電式電池は専用リサイクルボックスへ』

充電式電池には、主な材料としてニッケル、カドミウム、コバルトなど希少な資源が使われており、リサイクルされています。リサイクルマークのついた充電式電池は、リサイクル協力店（電気店・ホームセンター等）に置いてある専用ボックスに入れて下さい。その際、ショート恐れがありますので、金属端子部をテープ等で絶縁して下さい。ご協力をお願いします。

